

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、これまで105年に亘り多くの方々にお世話になりましたことを心より感謝申し上げます。

この度、2025年11月18日に株式会社 ookawa ホールディングスを設立しました。株式会社大川鉄工所、株式会社大紘、ookawa ベトナムを傘下に持つ、グループの親会社となります。

このホールディングスを立ち上げた背景には、私自身の強い危機感があります。日本では人口減少、社会・経済の不安定化、そしてコンプライアンスの高度化により、年々「ものづくり」がしづらい環境になっています。この状況が続けば、ものづくりを志す次の世代は、これまで以上に厳しい時代を背負うことになると思います。

だからこそ我々は、日本だけでなく海外の仲間ともパートナーシップを築き、先端技術を取り入れながら、どんな時代でもものづくりを続けられる環境を長期的に整えていく必要があると考えました。それが、我々自身が信じる「光」へとつながると確信しているからです。

我々にとっての「光」とは、『どんな時代にも、希望を絶やさず、創り続ける姿勢。それこそが、我々の生き方であり、未来への約束（光）です。』

ookawa ホールディングスを立ち上げるにあたり気が付いたことは、あたりまえですが初代・大川元蔵が、「鉄でもものづくりがしたい」という思いから、株式会社大川鉄工所を立ち上げました。その思いが事業となり、人が集まり、協力業社の皆さんとのつながりが生まれ、そしてお客様からものづくりの依頼をいただくことで今、国内外に拠点を持つグループへと成長してきました。

そして、ホールディングスを立ち上げるにあたりその目的は、単に会社の形を変えることではありません。このグループを、5年後、10年後、その先の世代まで残すために、経営と資本を分け、長期視点で意思決定できる体制をつくることです。

また、ホールディングスの役割は、今の主力事業が仮に壁にぶつかったとしても、次の新しいものづくりへと自然に移行できる『選択肢』をもっておく必要があると考えています。そのために、どこに資本を投じ、どの事業を育て、次にどんな「ものづくり」に挑戦するのかを判断することにあります。

今の主力事業が皆様のおかげで順調なときこそ、将来の変化に備え、次の「ものづくり」へ進む選択肢を、今のうちから準備していきます。社員の皆さんには、安心して技術・技能を磨き、挑戦し続けられる土台を。協力業社の皆さんには、これからも長く信頼し合える関係を。そしてお客様へ安全により良い物をより早く提供できるものづくりを、グループ一丸となって、次の時代の「光」となるように紡いで参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社 ookawa ホールディングス

代表取締役 大川 晃弘